

カンクン(メキシコ)合意のポイント(2010/12/12朝日新聞朝刊)

COP16 ポスト京都へ新体制、米中にも温暖化対策 合意(朝日新聞記事から)
法的拘束力は示せず

2013年以降の地球温暖化対策を議論する国連気候変動枠組み条約締約国会議は、12月11日未明(日本時間同日夜)新たな対策の骨格を「カンクン合意」として採択し閉幕した。

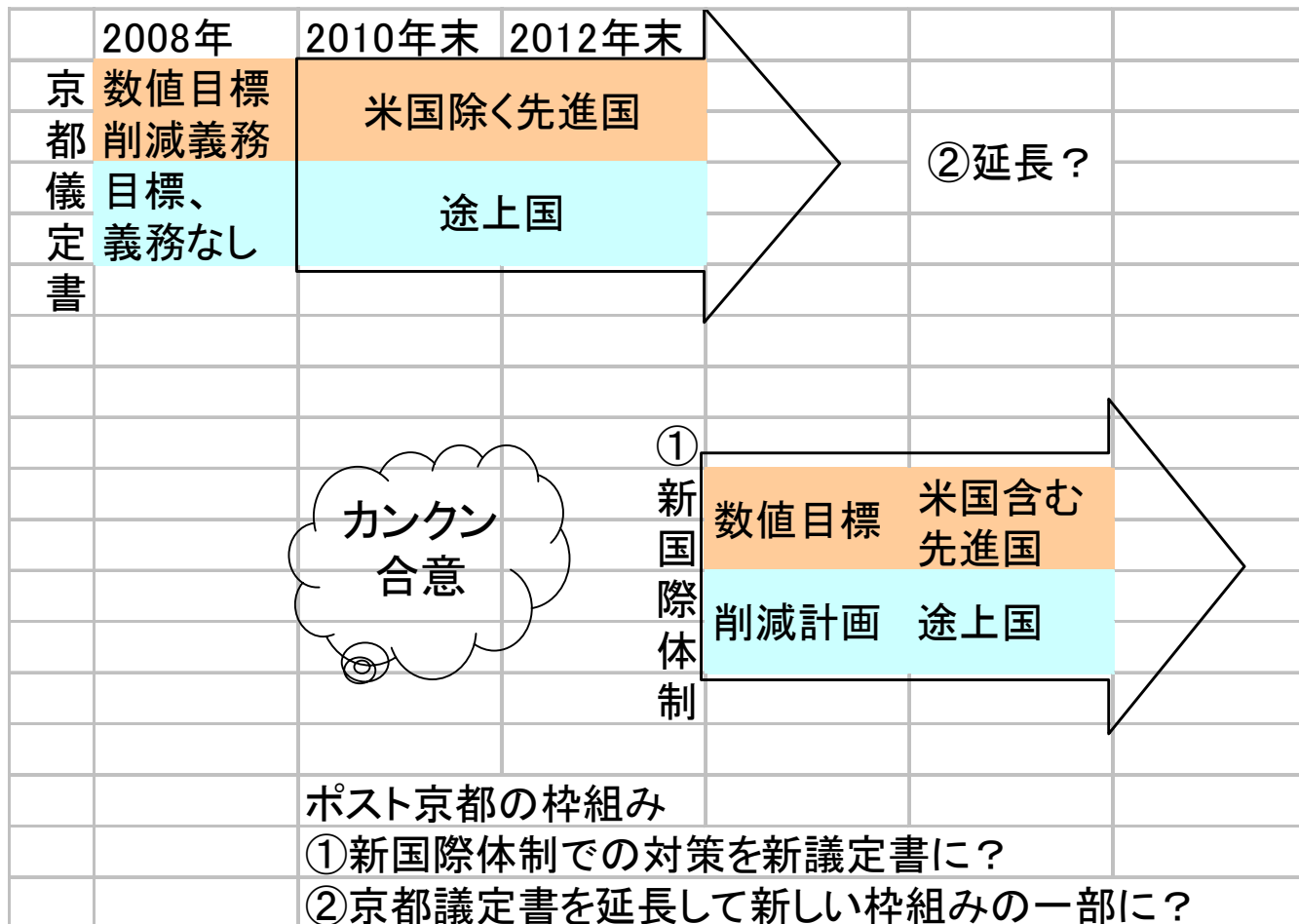
京都議定書を離脱した米国や、温室効果ガスの削減義務を負っていない中国、インドなどの新興国にも、一定の削減を初めて求める。主要排出国が参加する新しい国際体制が動き出す。

COP16 カンクン合意のポイント

- ・先進国は温室効果ガスの削減目標を掲げる。
- ・京都議定書を離脱した米国も目標を掲示。
- ・中国など新興国にも一定の削減を求める。
- ・合意が将来法的拘束力を持つかは不透明
- ・京都議定書延長の議論は先送り

次回COP17は2011年南アフリカ

温暖化対策の行方(朝日新聞2010/12/12朝刊の図を参考に横向きに変換)



次回COP17は2011年南アフリカ